



笠北だより

# あおぞら

第13号  
令和5年12月21日  
みどり市立  
笠懸北小学校

## ●皆様、よいお年をお迎えください

明日は2学期終業式です。コロナも5類に移行し、運動会や修学旅行、宿泊学習など、予定どおり実施することができました。児童や保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただき、たいへんありがとうございました。現在、本校でもインフルエンザが流行してきており、さらに冬休みは、年末年始で生活のリズムが崩れやすくなります。児童の健康管理について、よろしくお願いいたします。

## ●名作「ごんぎつね」から・・・

(あらすじ)

イタズラばかりしている小ぎつね・ごん。ある日、兵十が川で魚を捕っているのを見つけ、イタズラ心から 彼が捕った魚やウナギを逃がしてしまう。それから数日後、兵十の母が亡くなった。その魚やウナギは弱った母が欲しいと言った食べ物だったことを知ったごんは、申し訳ないことをしたという気持ちで、鰯、栗や松茸などを兵十の家に届け続ける。やがて、ごんが家に忍び込んだ気配に気づいた兵十は またいたずらをしに来たのだと思い、ごんを撃ってしまうのだった。

幕末や明治時代で活躍することになる多くの人を育てた、吉田松陰という偉人がいます。吉田松陰は松下村塾という学校の先生として、明治時代に日本の首相となった伊藤博文や山県有朋といった様々な偉人を育てました。吉田松陰の名言に、

「私は、人を信じて失敗するとしても、人を疑って失敗することがないようにしたい。」

という言葉があります。「ごんぎつね」も自分の行動がどのような影響を及ぼすのか、先のことまで考えて行動する大切さを伝えているのかもしれないね。以下の続きを読んで、ぜひ、この冬休みに、ご家族で話題にしてみてください。

兵十は立ち上がって、なやにかけてある火なわじゅうをとって、火薬をつめました。そして、足音をしのばせて近づいて、今、戸口をでようとするごんを、ドンとうちました。ごんは、ばたりとたおれました。兵十はかけよってきました。うちの中を見ると、土間にくりが固めて置いてあるのが、目につきました。

「おや。」

と兵十はびっくりして、ごんに目を落としました。

「ごん、おまいだったのか、いつも、くりをくれたのは。」

ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。兵十は、火なわじゅうをばたりと取り落としました。青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました。

## ●1月の主な行事予定 (学年行事等は除く)

1月 9日 (火)	3学期始業式、身体測定	1月22日 (月)	委員会活動
1月11日 (木)	みどり市学力調査	1月23日 (火)	全校朝礼
1月13日 (土)	みどり市人権展 (~29日) PAL	1月24日 (水)	新入生入学説明会
1月16日 (火)	集金日 (教材費)	1月29日 (月)	クラブ活動
1月19日 (金)	市いじめ防止子ども会議		3年クラブ見学 (6校時)